

Q15

初回接種と2回目接種までは41日以上の間隔（いわゆる6週間以上の間隔：参照p3）をあけることになっていますが、事情により期間を短縮して接種したいのですが効果はどうでしょうか。

A

経口接種されたワクチンウイルスは咽頭や腸管粘膜で増えて局所免疫を、さらに局所リンパ節などの免疫担当細胞に到達し増殖して液性免疫を形成します。このようにワクチンウイルスが増殖している期間は2～6週間といわれています。ポリオワクチンウイルスには3つの型がありますが、そのうちの増殖のよいⅡ型ウイルスが先に腸管粘膜で増えて、Ⅰ型やⅢ型ウイルスが干渉されて増殖が悪くなります。同じように1回目に接種したウイルスが腸管で増殖しているときに2回目の接種を行うと、このウイルスは増殖しにくくなるため、41日以上の間隔（いわゆる6週間以上の間隔：参照p3）をあけることがより確実な方法であると考えられます。できるだけ間隔を守った方がよいでしょう。